



26 奥秩父妙法嶽 和田英作 一面

油彩・カンヴァス 昭和三年（一九二八）
本紙一〇〇・〇×一二・三

雍仁親王御成婚の奉祝品として、学習院の職員および学生一同の依頼により制作されたもの。三峯山妙法ヶ岳の景色を入念な写生のもとに描き出している。前景の木々は雲間からのぞく初夏の太陽に照らし出されてまぶしく輝き、対照的に奥の山容は薄暗がりの中に静かに聳える。和田はこの作品のために約三ヶ月の間足繁く秩父へ通い、制作に打ち込んだという（『東京朝日新聞』一九二八年九月六日付）。制作中の八月十二日には現地の秩父から、宮内次官関屋貞三郎に宛てて書簡を送っている（『関屋貞三郎文書』国立国会図書館蔵）。その中で「揮毫中の猷納画着手致てより既に二ヶ月と二日を経過いたしける 未だに完成の域に達せず自分の遅筆をうらみけると共に今年に限りて餘りに長期にわたれる不良なる天候を歎ずる次第に御座候 幸い本日よりめづらしく小晴空を仰ぐを得て新たに勇氣百倍するを相覚え候 此分ならば餘りに遠からぬ将来に於て拙作の御批評を仰ぐ日あらん」として、制作にまつわる苦勞とそれにも増した意気込みをのぞかせている。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

富士 ―山を写し、山に想う―

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 46

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十年三月二十二日発行

© 2008 The Museum of the Imperial Collections